

## 平成23年度 第1回 全学FD（新任教員の研修） アンケート 集計結果

実施日時：平成23年4月4日（月） 10:00～14:25

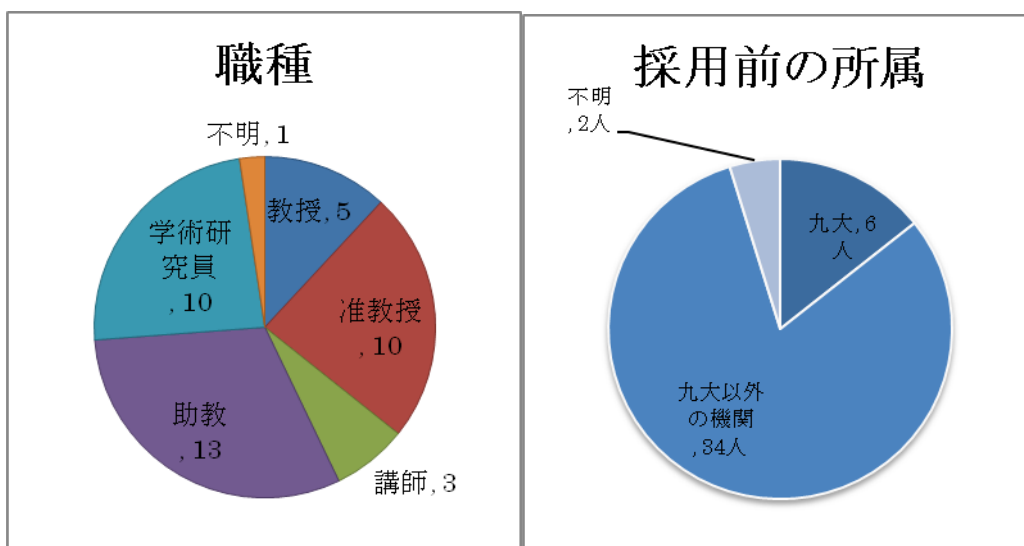
場所：旧工学部本館大講義室（箱崎地区）

テーマ：新任教員の研修

アンケート回答者数：42人（参加者90人、回収率46.7%）

（※明らかな誤字は修正しました。重複する意見は削除したのものもあります。）

### 参加者の属性



質問1) 講演「九州大学が求める教育とは」(講師：丸野理事)に関して、九州大学の教育について感想やさらに詳しくお知りになりたい事柄をお書きください。

#### 大学の方針について

- ・本学の求める点が理解できた。
- ・社会状況の多様化に伴い、大学に求められる教育内容も多様化しておりその役割が極めて重要であることを分かり易く説明していただいたと感じております。時間の制約面から難しいとは思いますが可能であれば具体的な実施事例、これまでの成果なども知りたいと感じました。
- ・教養課程と専門課程の関連性を良くすることは私も重要だと思います。
- ・「未知の世界」へ向かうためには、既知の学問分野の学習が必要であるが、学生にとっては「魅力」がないと思われがちなことをどう解決するかが難しいと思います。

- ・大学教育・研究に対する精神みたいなものが改めて学べて良かったです。

#### 感想、さらに詳しく知りたいこと

- ・「教員」であることを改めて自覚する契機となった。
- ・教育においてたとえば「仮説検証型」から「仮説生成型」への発想の転換が必要というお話が一番考えさせられた。
- ・生涯にわたり学び続ける姿勢というお話に関連して、九大における生涯学習や地域の方々に向けた公開講座等の取組について教えていただきたい。
- ・専門性のたどり着くまでに多くを学ばなくてはならないのですが、それを踏まえて異分野も学び対話する、効率的な時間の使い方など、具体的な案（経験）を知りたかったです。
- ・哲学寄りの内容で話題がつかみにくかったがとても勉強になった。
- ・かなりエネルギッシュな語り口に熱意や情熱を感じました。各キーワードについて具体的な事例を示して頂けると助かります。
- ・現在九州大学で話題になっている教育上の問題が分かってよかったです。
- ・概念としては理解できましたが、もう少し具体的なお話をされてもよかったですかと思います。
- ・観念的な話だった。対話を重視しようと思った。
- ・熟知して勤めていきます。
- ・スライドがある方がいい。具体的な話が少なかった。
- ・教壇に立った後の話についての内容であり、実際これから自分がそうなったときに直面するであろうことを分かりやすくお話し頂いた。（Must と May の話など、専門性の教授だけでない重要なこと等）。
- ・学生本位の姿勢が良かった。

#### その他

- ・教育改革がきわめて slow であるということがわかった。言っている間にもっと素早く実行すればいい。また前提としている教育像（研究者像）そのものがきわめて遅れている。（10年前に戻った印象である。）それが九大の現状ということか。他大学から来たものには異和感がある。
- ・「九大が求める教育」なのか「ご本人が求める教育」なのか一部あいまいだったように思う。

質問2) 講演「九州大学の研究活動について」(講師:藤木理事)に関して、九州大学の研究活動についての感想やさらに詳しくお知りになりたい事柄をお書きください。

#### 大学の方針について

- ・異分野との共同研究について大学でも仲介をとりこんでほしい。
- ・現場の観点から、非常に身近な内容であり、よく分かった。

### 研究支援について

- ・ 科研費採択件数等高いことは調べてありましたが改めて外部資金などに対して積極的であると感じます。本日ご紹介いただいた先生方に近づけるよう、精進しよう意識が高まりました。
- ・ 研究の充実が教育の質の向上にもつながることから、積極的に取り組みたい。
- ・ 九州大学は、個人の研究者活動にも積極的に支援していることを知り、大変心強く感じました。多大な労力を払って様々な形で研究者を Backup している。大学にも貢献できるよう頑張らないとという気持ちを新たにしました。
- ・ 研究活動、研究資金の全体像を知る機会としてもとてもよかったですと思います。
- ・ 研究費の申請時期、金額について簡素にまとめられていて理解しやすかった。
- ・ 教員に対する多数の支援制度があることがよくわかりました。
- ・ 研究助成、支援、特に学内のものが参考になりました。文系研究の研究費について考えさせられるものがありました。
- ・ 採択されて競争的資金申請書を公開しているということを知ることができ、有益でした。

### その他

- ・ 超一流の先生のお話でモチベーションが上がる一方、もう少しその前の段階のそこに至るまでの身近な取組についてもご紹介いただければよかった。
- ・ 九州大学で特化して行っている program の紹介を中心に行うと良い。
- ・ もう少し長い時間をかけて講演頂きたかった。九大の先生たちが素晴らしいことはよくわかったが科研の中身（申請要領等）がよくわからなくて残念だった。
- ・ 九州大学の研究の現状がわかり、今後の自身の研究活動の参考になりました。
- ・ 提供されたデータは大変興味深い。できればこうしたデータは常にあるいは定期的にアップデートし提供してもらいたい。
- ・ 研究担当理事として、ほかに何か話すことはないのか。実務的説明（科研費）ならば、事務局で充分である。他大学では「トップであれ」などもっとメッセージ性の高い話を聞いた気がする。

質問3) 講演「いまどきの学生のころとコミュニケーション」(講師: 福盛准教授) に関して、感想やさらに詳しくお知りになりたい事柄をお書きください。

### メンタルケアについて

- ・ 学生のメンタルケア等の重要性についての理解が深まったと感じます。時間的には厳しいと思いますが、大学でのケアと社会に出てからのとのズレが生じたりすることはないのかについて知りたい所です。

大学でのきめ細かなケアが実現したと仮定すると、社会に出た際に逆に困るといった可能性はないのでしょうか。

- ・カウンセリング等を積極的に行われていることが良くわかりました。
- ・現状がよくわかりました。担当してる学生をどの段階（時点）で健康相談室に紹介すればいいのか、その目安を教えてくださいたいです。
- ・メンタルヘルスに関する教員の役割がよくわかりました。ありがとうございます。

#### その他

- ・一人経験したことがあるので大変助かりました。
- ・注意を否定を受け取る学生がいるとのことで、どのように注意をすれば良いかのアドバイスなどがあつたら知りたいと思います。
- ・外部での学習が増えているのは大学内部に満足できないことがあるのかと思いました。（予備校のような状況？）附置研等の環境ではかなり状況が異なると思います。
- ・軽妙な語り口で好感が持てました。もう少し具体的な対処法の話を知りたい。
- ・普段あまり触れることのないお話で興味深いものでした。自殺する学生の実例（生活パターン、原因等）を示していただけると参考になると思います。
- ・時間内でまとめて欲しかった。ポイントが分かりにくい。事例、紹介が多かったが、その対応などももう少しわかりやすく話して欲しかった。

質問4) 講演「九州大学の全学教育」(講師：淵田教授)に関して、全学教育についてさらに詳しくお知りになりたい事柄やご意見など自由にお書きください。

#### 成績について

- ・成績を出す側として、そのしくみ、問題点について知ることは重要である
- ・大学院特に修士からの入学者への教育・講義に関しての評価表や取り組みなどを別途伺いたいです。
- ・担当教員毎にGPAに大きな差があるという事実には驚きました。成績評価の平準化どこまで可能なのかという事に興味を覚えました。
- ・入試より全学教育の成績の方が専門養育との相関が高いというデータは大変に興味深く思います。(これは入試方法の変更が必要なのではありませんか?)

#### 授業について

- ・授業のノウハウ等もう少し詳しくお聞きしたいと思いました。1時間必要かもしれません。

#### その他

- ・学生の意見に耳を傾け、授業等を改善することは重要と考えます。反面で、教員と学生とのバランスが偏らないかという不安もあります。

学生がもっと努力するよう仕向けるプログラムなどについてももう少し詳しく知りたい所です。

- ・文系についても話を聞きたかった。
- ・ Good Practice、トラブル例などを知りたい。
- ・ 具体的な成功例、改善例等あればほしかったです。
- ・ 全学教育の位置づけが素晴らしい。
- ・ 研究所で学部授業を担当させてもらえないので関係ない（他大学では全学教育もさせてもらっていたのでむしろ不満である）やり方があるなら検討したい。
- ・ 九州大学の全学教育の全体像がわかった。個々の詳細についてはこれから個人的に勉強したいと思う。

質問5) 事務手続等を含めて、現在困っておられること、疑問に思っておられることなどありましたらお書きください。

#### 事務手続き、事務関連について

- ・ 今後どのようなものが必要となり、いつ配布されるかを教えていただければ幸いに存じます。（職員証、入構許可等）
- ・ 廃棄物処理などがよくわからない。経費の執行時期。
- ・ 校費、出張などの仕組みが分かりにくい。
- ・ 部門を通すか、部局と直接やり取りするか迷います。
- ・ 物品図書購入や出張の手続きについて、着任時にまとめて資料を配布してほしい。そのほかの手続きについてもすべてわかりやすくらせてほしい。
- ・ 航空機での出張の旅費（格安チケットがいっぱいの時、普通チケットで行くより前日移動+宿泊の方が安い場合があるが、前日泊は認められない？）
- ・ 話題にあったように、経理・旅費てつづきでこまった。
- ・ 着任は4/1なのですがIDが付与され、ITにアクセスできるのが1週間後になってしまうので、その間が不便です。4/1から利用できるようになっていたらありがたいです。

#### その他

- ・ 教員ハンドブックはすばらしい。職員の方は親切だが、担当や位置づけがわかりにくいので助かる。例えば、職員証や名刺も申請主義ということには民間組織との比較では違和感がある。
- ・ 年度途中の着任の場合、こうした情報へのアクセスが困難でしたので、今後は改善してほしい。
- ・ 上司のパワハラ（やめさせようと無理難題を要求してくる）
- ・ 今後も教員ハンドブックは新しいものを入手できるのか？どうすればよいのか？
- ・ 自分の待遇がよくわからない。

質問6) 新任教員研修 (FD) において、どのようなプログラムが有意義だとお考えですか。

#### 研修のスタイル (参加型) について

- ・ディスカッションできるものがあったてもよいかもしれません。皆さんのお話も聞きたい所です。
- ・事務手続き系の説明は文字だけでなく、耳で聞くと頭に入りやすい。集合研修よりEラーニングでもよいのでは。ワークショップ形式などで「良い教え方」を学ぶ機会もぜひ作ってほしい。
- ・着任2~3年後の教員からの要望とそれに関する取り込み、意見聴取等を行う。
- ・具体的なケーススタディが少ないようなので、増やして頂いたほうが良いのではないのでしょうか。

#### 研修の内容 (具体性) について

- ・事務手続きや連絡パス等について知らせてもらうとありがたい。
- ・任期付きの人も多いことからキャリアパスの話題。
- ・模擬講義、授業見学

#### その他

- ・本日のようなもので結構です。
- ・九大としてどう特長を出したいのか。他大学との比較の上での明確な方向性を聞きたかった。(何が強いのか、何が弱いのか)
- ・ハンドブックのようなまとまったものを配布すれば後で見なおせてよい。
- ・今回のプログラムはすべて有意義に感じました。

質問7) その他、ご意見、ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

#### 講演者の発表方法について

- ・質問時間などがあっても良いかと存じます。
- ・講師の先生方は自分の話す時間をよく理解されていないように思いました。
- ・大上段からのお話は全く以ってその通りであるとしたしまして、講演の時間を守ることができないというのは、研究(者)の態度としてもどうかと思われれます。

#### その他

- ・遠隔で伊都へ配信して参加可能にしてほしい。(今回がどうだったかはPDFから読み取れず)
- ・スケジュールの余裕がもう少しほしかったです。
- ・伊都でも開催してください。
- ・私は新任教員でなく図書館員ですが、教員の教育研究活動を支援するために、大学の基本方

針を理解することが重要だと考え、今回の FD に参加させていただきました。大変勉強になりました。どうもありがとうございました。

- ・少し事務手続きに関わる説明を含んだプログラムがあればよかったですと思いました。